

# 一薬会報

平成27年11月25日

## CONTENTS

会長あいさつ	1
薬学部長あいさつ	2
役員会・総会報告、副会長挨拶	3
キャンパスライフ見て歩き	4
NPO法人BRIDGE福岡事務所設置	5
同窓会活動報告	6
同期会	8
同門会・サークル	9
平成27年度 同窓会役員	9
後援会の活動・お知らせ	10
会計報告	10
アドミッションオフィスからのお知らせ	11
編集後記	12



## 第一薬科大学の発展を願って

一薬会会長 金岡正蔵（9期生）

平成27年度第一薬科大学同窓会総会（H.27.7.5）におきまして会長を拝命いたしました。歴代の会長始め役員の方々のように、職責を果たせるかどうか不安を抱いたままお引き受けして早半年が経過しました。しかしながら未だに、林 巖前会長に顧問に就任していただきながら、事務一切の支援をして戴いている状態となっています。今回会報の発行が予定より遅れ、ご心配をおかけしました。早急に幹事会体制を立て直して会務執行の滞りなきよう務めていきたいと思っておりますので暫しのご猶予を賜りますようお願い申し上げます。さて、第一薬科大学卒業生の薬剤師国家試験の状況はすでに会員各位ご承知だと存じますが、改めてご報告いたします。平成18年薬学教育6年制移行後の新たな国家試験が開始されて以後、第97回国試（平成24年）23.47% 第98回国試（平成25年）29.25% 第99回国試（平成26年）13.22% 第100回国試（平成27年）23.47%と厳しい状況が続いています。第100回国試の状況を細かく分析しますと新卒者合格30名//受験者39名76.92%（全国の私立大学平均合格率71.65%）6年制既卒者合格36名//受験者98名36.73% 旧4年制卒業生・その他合格者3名//受験者157名1.99%となっています。いわゆる国試浪人の方々の国試合格に向けた取り組みが喫緊の課題です。国家試験の出題傾向は知識を暗記するだけでなく、しっかり理解し、適切な技能を身につけ、自分自身で考え実践する態度が要求されています。勿論、大学並びに受験者の方々が主体的に取り組むことが本来であることは論を待ちません。大学の存在意義は様々な考え方がありますが、とにかく、第一薬科大学の存亡は当面、薬剤師国家試験の合格率を上げることにかかっています。受験者個人のことと捉えず、同窓会として何か支援する方向を模索していきたいと思っています。猪立山正史元会長並びに林 巖前会長のご尽力により同窓会と大学とのより一層の良好な関係が構築されています。また後援会の役員には同窓会会員が多数なっており、同窓会と後援会の連携がスムーズに図られる状況となり、来年度から、薬学生実務実習で学生が着用する白衣を同窓会と後援会が共同で進呈する方向で調整しています。第一薬科大学の更なる発展を願うとともに、同窓会会員の皆様のますますのご活躍とご清栄を祈念し、同窓会会務に邁進いたす所存です。至らぬ処多々ありますが、叱咤、激励に加え、ご指導、ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。



実習棟



都築頼助記念体育館

### 【略歴】

昭和47年3月 卒業  
 昭和47年4月 吉富製薬(株)勤務～昭和53年9月退職  
 昭和54年4月 整骨院開業～平成9年11月閉業  
 平成9年12月 かなおか薬局駅前店開設～現在に至る

### 【役職】

公益社団法人福岡県薬剤師会副会長  
 一般社団法人筑紫薬剤師会監事  
 筑紫野市スポーツ少年団本部長  
 一般社団法人筑紫野市体育協会評議員  
 筑紫野市国民健康保険組合委員  
 福岡県健康づくり推進協議会委員  
 福岡県薬物乱用防止協議会委員  
 福岡県シンナー等取扱業者連絡協議会委員